



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金 2022年3～6月 支援報告



(c) Petr Volosuk



(c) Chernnauti UNESCO Cultural Center



(c) Chernnauti UNESCO Cultural Center



(c) Chernnauti UNESCO Cultural Center



(c) Petr Volosuk



(c) Petr Volosuk

〈募金のご協力ありがとうございました〉

ウクライナの危機に関する声明

「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなくてはならない」というUNESCOの精神を、日本に世界に弘めるために創設された私たち公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、この度のウクライナ危機に重大な懸念を持ち、UNESCO本部の声明を強く支持します。

UNESCOの精神に立ち戻り、ロシア政府は、直ちに力による問題解決を中止することを求めます。また世界の人びとは、ウクライナの平和のための声を挙げましょう。

2022年2月27日
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金

この度は、温かい募金のご協力をいただき誠にありがとうございました。
募金は、現地支援団体を通じて、ウクライナの人びとのために役立てさせていただいております。

募金受付 2022年3月4日～5月31日
募金総額 7924万6464円（6月10日現在）

支援内容 ウクライナ避難民への宿泊・食糧・生活物資支援

支援地域 ウクライナ国内および隣接国

ウクライナ チェルノフツィ市

（ウクライナ西部：ルーマニアとの国境付近）

ウクライナ ザカルパッチャ州

（ウクライナ西部：スロバキアとの国境付近）

ルーマニア スチャバ市

（ルーマニア北部：ウクライナとの国境付近）

現地支援団体 ルーマニアユネスコ協会センタークラブ連盟
シグヌス科学ユネスコ協会（ルーマニア）
チェルノフツィユネスコ文化センター（ウクライナ）
ピープルインニード・スロバキア（スロバキア）



写真：シグヌス科学ユネスコ協会



「支援物資のための寄付をありがとうございました。事態が切迫していて、避難民となってチェルノフツィに来る人が増えているので大変助かります。いただいた資金で、赤ちゃん用のウェットタオル、スリッパなどを買って届けることができました。私の団体ではいま、事務局を避難民の人たちが泊まれるように準備しています。これから作業に取りかかるので、十分にお礼を言えなくてすみませんが、日本の皆さまに、心から感謝しています」
(2022年3月)
チェルノフツィユネスコ文化センター
ユーリ・レベチック代表



「スチャバ市内では、ホテルや学校、スポーツセンター、文化センターなどに人びとが押しかけており、食べ物や着る物、寝具など、さまざまな物資が必要です。1時間あたり200人もの避難民がウクライナから押し寄せてくるなか、日本の皆さんからの支援は非常にありがたいです。ここスチャバでは夜の気温は零下になり、限られた身の回りのものしか持たない人たちに、必要なものを提供していきます」(2022年3月)
シグヌス科学ユネスコ協会 ダン・ミリチ会長

支援報告



ウクライナ チェルノフツィ市

チェルノフツィ市は、ウクライナ西部、そのまま30キロ南下するとルーマニアとの国境にたどり着く地点にあります。同市はウクライナからルーマニアに避難する人びとのルートの一つで、3月には10万人もの避難民が押し寄せました。チェルノフツィユネスコ文化センターが開設する避難施設には、乳幼児を含む子どもや女性が多く避難しています。人びとのために衣類、下着、寝具・マットレス、衛生用品、赤ちゃん用品、洗剤、シャンプー、食糧などを届けました。また冷蔵庫や洗濯機などの設備も設置しました。



写真：チェルノフツィユネスコ文化センター

ルーマニア スチャバ市

ウクライナの国境にほど近いスチャバ市。3月には1時間あたり200人もの避難民がウクライナから押し寄せました。同市で活動するシグヌス科学ユネスコ協会が開設した避難施設で、食糧や衣類などさまざまな生活物資とともに、子どもたちのためのぬいぐるみも届けました。また、ルーマニア語が分からないウクライナからの避難者のためには翻訳機を手配し、異国で避難生活を送る人びとの意思疎通に役立てました。

さらに、同協会とスチャバ市の大学が共同で実施したのは、子どもたちに安らぎや喜びを与えるための体系的な教育活動です。「サイレンの音がまだ耳に残っている」「学校に戻りたい」など自らの体験や感情を打ち明ける子どもたちのトラウマを少しでも和らげようと、教育学部の学生たちが子どもたちに寄り添い、「笑顔を彩ろう！」のコンセプトでお絵描きやさまざまな遊びのプログラムを実施しました。



写真：シグヌス科学ユネスコ協会

支援報告

ウクライナ ザカルパッチャ州

スロバキアと国境を接するウクライナ西部のザカルパッチャ州は、スロバキアに向かう避難者や国内避難民など、5月上旬までに40万人以上ともいわれる人びとが流入した地域です。同州で活動するピープルインニード・スロバキア（※）を通じて、学校などの公的施設を拠点にした避難施設を支援しています。避難施設のストーブや洗濯機、大量のベッド、マットレス、寝具などの手配をはじめ、飲料水やフード・バスケット（食品セット）、衛生用品、子どもケア用品、医薬品などの生活物資を届けました。※ピープルインニード・スロバキア・・・1999年、コンゴ紛争の被害者支援のために設立されたNGO。これまでに世界29カ国で人道支援を行なった実績があります。



写真：Petr Voloscuk



写真：Petr Voloscuk



写真：Petr Voloscuk



写真：Petr Voloscuk



写真：Petr Voloscuk



写真：Petr Voloscuk



写真：Petr Voloscuk



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
TEL:03-5424-1121(代) FAX:03-5424-1126
http://www.unesco.or.jp E-mail:nfuj@unesco.or.jp



ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金

【お問い合わせ先】

日本ユネスコ協会連盟 ウクライナ緊急募金係
Email: ukraine@unesco.or.jp

<https://www.unesco.or.jp/join/ukrainebokin/>

※写真画像の無断転用はお控えください。
使用許可については、日本ユネスコ協会連盟
まで事前にご相談ください。